



手術で改善できる認知症

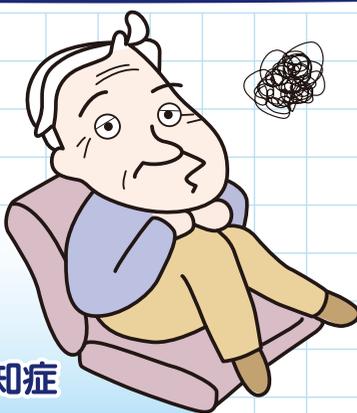
とく はつ せい せいじょう あつ すい とう しょう
特発性正常圧水頭症 iNPH を知っていますか？
アイエヌピーエイチ

なるべく早く見つけ出し、正しい治療を行うことが大切ですので、もしかしたら…と思ったら、かかりつけ医あるいは専門医(脳神経外科・神経内科)を受診しましょう。

特発性正常圧水頭症 (iNPH) とは？



歩行障害



認知症



尿失禁

■歩行障害や認知症・尿失禁などが起こる高齢者の病気です

主な症状は、「歩行障害」「認知症」「尿失禁」の3つ。

歩行障害を中心に症状が重なって出てきたら、特発性正常圧水頭症(iNPH)の可能性がります。

■手術でよくなる疾患です

この病気は、症状とCTやMRIなどの検査で診断できます。治療は、1時間程度の水頭症治療の基本的な手術と10日間程度の入院。個人差はあるものの、歩行障害は9割、認知症や尿失禁は7割程度の方が改善し、介護が軽減するケースも多く見られます。*

※「特発性正常圧水頭症診療ガイドライン第2版」を参考

治療できる認知症を見逃さないで！ 早期発見が重要です。

特発性正常圧水頭症(iNPH)は脳室に髄液がたまり、歩行障害や認知症、尿失禁などが起こる病気。現在、症状の改善が期待できる認知症として注目されており、日本の高齢者人口の1.1%、約37万人の患者さんがいるといわれています。最近歩きにくくなった、物忘れがひどい、頻尿がある、と感じたら、老化だからとあきらめず、iNPHを疑ってみてください。

松弘会 三愛病院 猪野裕通 先生



特発性正常圧水頭症サイト

www.inph.jp

INPH 検索

高齢者の
水頭症コールセンター
受付時間 平日8:00~20:00

つなぐ よろこび
0120-279-465

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 デビュー・シネセス・ジャパン コッドマン & CMF事業部 ©J&JKK 2016-2017

裏面で自己チェックしてみましょう >>>

☑ iNPHの症状チェックリスト

症状のタイプ

状態

- ・開脚
- ・小刻み
- ・すり足

足が上げづらく、小刻みに少しずつ歩く。

開脚で不安定な歩き方になる。

不意に転倒してしまうことがあるが、特に転回するときにふらつきが大きい。

歩くときに、第一歩が出なかったり、床に張り付いたような歩きにくさを覚える。

歩くことができない、または、立つと不安定である。

最近、物忘れがひどくなった。

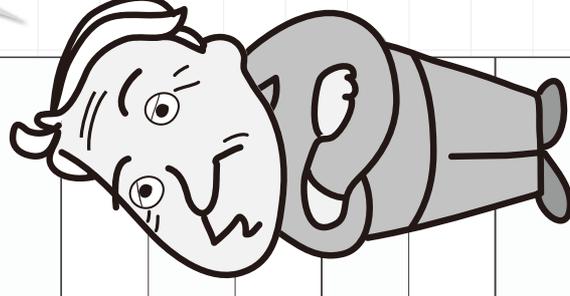
意欲がなくなり、日ごろ習慣としていたことや趣味などをしなくなった。

集中力を維持するのが難しく、ぼーっとしてしまう。

おしっこの我慢できる時間が非常に短くなった。

頻尿または尿失禁状態である。

その他
表情が乏しくなる。



なるべく早く見つけ出し、正しい治療を行うことが大切です。もしかしたら…と思ったら、かかりつけ医あるいは専門医（脳神経外科・神経内科・認知症疾患医療センター）を受診しましょう。